



チーム再起動 代表 加古ときはる

住所 高砂市曾根町764 電話/FAX 079- 448-1981

E-mail: takasagoaikido@yahoo.co.jp

HP: <http://www.geocities.jp/takasagoaikido/>

ブログ: <http://blog.livedoor.jp/takasagoaikido/> 2008.3.22

第1号

## こうすれば高砂は変わる！ 2008年3月22日 高砂市の経営方針を発表！

○1期4年、強いリーダーシップと不退転の決意で実行

= 結果はすべて3年で出す！ =

○3年で市民病院の赤字半減 10億→5億円 ○3年で総額15億円の人件費削減

### 提言その1 財政再建

### 3年で総額15億円の人件費削減

#### ■財政再建のためには人件費削減しかない

すでに報道がされているように、平成20年度予算は「骨格予算」（政策的な経費を除いた最小限の予算）にもかかわらず、貯金を18億円も取り崩し、のこり4億円となりました。普通の自治体では30億円前後が当たり前です。さらに、税収減にもかかわらず、昨年度よりも歳出は増えています。

調整型で部下や声の大きな勢力に対して厳しいことが言えない副市長の欠点が明確に出てしまいました。

「人件費を払っているだけで他は何もできない」というこの状態を改善するには人件費削減しかありません。3年で15億円の数値目標を掲げ、経営体質の改善が必要です。同時に定数削減も断行することも当然です。市民の貴重な税金は市民が実感できるように有効に使うべきです。

## 経営のノウハウを高砂市運営に

代表 加古ときはる

私は高砂に生まれ育ちました。40年以上前にこの地で企業を興し、景気の変動に苦しみながら社員とともに会社を運営してきました。品質をモットーとする日本の工場の伝統を担ってきたつもりです。昭和51年（1976）の曾根地区水害の際には工場がすべて水没し、2億円の損害を受けました。オイルショックの際には、経常経費の削減のため、給与削減を断行しました。

朝礼で社員全員に「会社が苦しいからすまない」とわび、一人一人と膝詰めで話し合いました。

「いつかは会社を建て直す。その時には倍にして返すから」と頭を下げ、人件費を必死で切り詰めて会社を存続させました。約束通り景気回復した際には大入り袋を配って社員と手を取りあって喜びました。そんな「強いリーダーシップと信念」を心がけた会社運営のノウハウを今度は高砂市という企業を改革するために使いたい。

高砂市にめばえようとしている若い芽を育てるためにも、まず構造改革をきちんと行うことが必要です。次の世代の捨て石になる覚悟でのぞんでいます。

「3年でいい。私に任せて欲しい。」

山積する課題について、市民に改革の実感をしてもらうことを宣言します。

もちろん、厳しいことを言い続けることとなるでしょう。

しかし、私は逃げずに先送りせずに3年の間に解決の道筋をつけていきます。

プロフィールは  
次ページに

今週の代表の駅前活動 いずれも7時～8時（他の地域でも仲間が配布しています）

24（月）高砂 25（火）山陽曾根 26（水）JR宝殿 27（木）伊保 28（金）JR曾根

代表の加古が重点政策として掲げる5つの分野に市民から1000の提言を受け付けます。

[子ども]子どもが微笑む/[お役所改造]市民に役立つ所へ/[産業振興]ものづくり高砂/

[環境・安全]住み続けたい街「高砂」に/[高齢者]生涯現役 高齢者が元気な高砂

=分野の新設も募集中=

提言0001 **保育所の時間延長** 【子ども】

提言0002 **市民の提言や質問にきちんと回答** 【お役所改造】

さっそく政策提言いただきました。応援してくれている市議からの政策提言です。

✉ 市民から匿名メールで『公立保育園の時間が短い。朝8時からでは遅すぎる。加古川はもっと早いのに。しかも、そのメールを市役所に送ったけれど何の返事もない。』と訴えがあった。働くお母さん、お父さんの応援をぜひしてほしい。そして、返事をしない市役所の体質が問題。マニフェストにぜひ入れて欲しい

これについて、加古代表からの回答です。

🔴 私も当時は珍しかった「共働き」で妻とともに会社経営をしました。  
正直、妻に子育ては任せてしまいましたが、働く女性の応援には理解を持っているつもりです。  
子育て政策については苦手なところもありますが、若い応援してくれている市議からも政策提言をたくさんいただいています。「子どもが微笑む高砂市」をめざして子育て支援も頑張ります。  
さらに、回答すらない高砂市役所の体質には困ったものです。  
まずはこんな根本的なところからしないといけないのは情けないですが、そこから「再起動」しなくてはなりませんね。

私たちはみなさんから寄せられた声に対して、ニュースやウェブ上で「回答」をきちんと行います。高砂再起動のブログやメールまでみなさんの声をお寄せ下さい

ブログ: <http://blog.livedoor.jp/takasagosaikido/> メール [takasagosaikido@yahoo.co.jp](mailto:takasagosaikido@yahoo.co.jp)

## 1000の政策提言のために マニフェスト勉強会 予定 いずれも7時～(一部をのぞく)

内容: 代表加古のお話/大内秀夫(元市長)などゲスト/市民でつくる1000の政策提言

3月27日(木) 伊保西部自治会館 28日(金) 高砂十輪寺

29日(土) 2時～生石研修センター 29日(土) 蓮池自治会館

31日(月) 阿弥陀東自治会館(予定)

4月1日(火) 神爪自治会館 2日(水) 梅井自治会館/高須自治会館

3日(木) 牛谷自治会館 4日(金) 曾根神社会館

■問い合わせは  
チーム再起動  
事務所  
**448-1981**  
まで

## ■プロフィール 加古ときはる(元高砂市議会議員)

高砂市曾根町生まれ。曾根小学校、松陽中学校、加古川東高校をへて会社員へ。31歳の時に特殊履物メーカーを起業。世界中を飛び回り営業し、不況や水害などの苦しい時期を乗り越え、地域の中堅企業に成長させる。

「日本の伝統的な匠を基調としたタビ」開発などユニークなものづくりはNHK「ぐるっと関西」にも取り上げられる。

ラブホテル建設反対運動に取り組んだPTA活動をきっかけに高砂市議会議員になり、以後6期24年活動。民間企業経営の視点から財政問題、行財政改革提言を得意分野とする。市議会議員も2度経験し、大内/田村両市長時代には混乱する議会をまとめあげ、その実力を評価された。

趣味は歴史。興味がこうじて現在、姫路獨協大学の聴講生。